

令和4年度 造血幹細胞移植委員会 活動報告

令和4年下半期 JSPHO 造血幹細胞移植委員会活動報告

1) 「小児における造血幹細胞移植後の深在性真菌症に関する後方視的研究」を開始するための審議を進めている。

過去5年における国内小児の造血幹細胞移植に関連する深在性真菌症の発生率、予防法、治療法を調査することで、国内初の小児深在性真菌症のエビデンスを構築していく。

2) 「本邦小児における同種造血幹細胞移植後予防接種の現状と生ワクチン接種効果への関連因子の調査研究」について

アンケート調査は2022年5月31日で終了し、施設調査の結果は第64回小児血液がん学会で発表した。現在論文作成中である。患者調査については本年度中の解析終了を目指している。

3) 「小児ドナーの安全性調査に関する疫学観察研究」について

小児ドナーからの採取が安全であるということを客観的に証明する貴重な報告となるため、JSPHO HPに公開していく。

4) 国立がん研究センター研究開発費福田班 LTFU 支援ツール構築会議への参加

長期フォローアップ事業として小児科版の LTFU 支援ツールを作成し、日本造血・免疫細胞療法学会の HP に掲載されている。

移行期医療版として患者向け移行医療ツール、情報共有シートを作成している。JSPHO 長期フォローアップ・移行期医療委員会と連携している。

5) 小児の臓器移植および免疫不全状態における予防接種ガイドライン改訂版作成 WG へ参加し、完成が近づいている。

7) 日本造血幹細胞移植データセンター一元化委員会での研究審査に参加している。

8) 日本造血・免疫細胞療法学会の遺伝性疾患 WG が行う、小児非腫瘍性疾患 (50 例くらい) に対する PT-CY を用いたハプロ移植についての後方視的調査に、一元化委員会 WG (先天性 WG) に JSPHO として協力していく。